

## 徳島県立しらさぎ中学校

### 1 学校の概要

- ① 生徒数 43名
- ② 校訓、目指す生徒像等  
友愛・協調・挑戦
- ③ 環境に関わる目指す生徒の姿



- 1. 多様な「まなび」を通して自らの能力やスキルを向上させることができる生徒
- 2. 自分の夢や目標達成のため向上心を持って新しいことにチャレンジできる生徒
- 3. 国際理解、人権尊重、他者に対して優しさや思いやりが持てる心豊かな生徒

### 2 行動方針

- ① ゴミの分別をします。
- ② 節電・節水を心がけます。
- ③ ペットボトルのキャップを回収します。
- ④ 羽畑農園（はばたけのうえん）で有機肥料を作ります。

### 3 行 動 ※実践例、行動の様子、記録カードなど

- ① 燃えるゴミ・燃えないゴミ・カン・ビン・ペットボトルをきちんと分別できるよう、ゴミ箱の色を分け、表示をつけています。



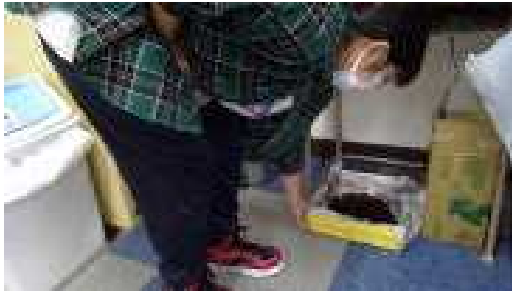
- ② 節電・節水を呼びかけるため、日本語・英語・中国語・ベトナム語で啓発シールをつくり、各教室や手洗い場・トイレに貼り付けています。



- ③ ペットボトルのキャップを回収し、ワクチン寄付活動に協力します。  
回収箱は校内に3カ所設置するとともに、一年に一度生徒会が回収を呼びかけ、家庭のペットボトルキャップを持ってきてもらいます。



- ④ 学校菜園である羽畑農園で雑草やコーヒーかす、おからを集め、コンポスト堆肥を作ります。堆肥は農園での野菜づくりに活用します。収穫した野菜は生徒や教員が持ち帰り、エシカル消費や地産地消、食育への関心を高めます。



#### 4 具体的効果

- ◆ ゴミ箱等のゴミ分別表示を解りやすくすることで、分別への意識付けができた。
- ◆ 節電・節水の啓発シールの貼り付けに加え、「技術・家庭」の時間に節水ポスターを作成したことにより、意識が高まった。
- ◆ ペットボトルキャップの回収活動は、生徒会が呼びかけたことにより、多くの生徒・教員が協力できた。
- ◆ 有機肥料づくりについては、試行錯誤をくりかえすなかで、エシカル消費に対して関心を高めることができた。

#### 5 改善点

- ◆ ペットボトルのキャップ回収活動の呼びかけが年間1回では少ないので、学期ごとに1回呼びかけるよう、頻度を増やし、学校全体でSDGsへの意識向上をはかりたい。
- ◆ 「数学」の授業において、各月の電気や水道使用量などをグラフ化する作業を進めている。完成したものを校内で発表・掲示することで、省エネルギーへの意識を高めたい。